

徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設整備事業について

1 経過

- ・令和 5 年 3 月 24 日の市長定例会見にて、財団の浜松本部設置に伴い、大河ドラマ館及び関連施設を活用し、財団所蔵品を中心とした展示収蔵施設とする方針を発表した。
- ・有識者等による検討委員会を令和 5 年 10 月以降 3 回開催し、施設コンセプトや大河ドラマ館を最大限活用する整備方法等について検討してきた。

※徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設整備検討委員会 委員構成

千田嘉博委員長（名古屋市立大学高等教育院教授）、水谷悟委員（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）、斉藤薫委員（浜松商工会議所会頭）、廣野篤男委員（浜松市自治会連合会会長）、稲本幸恵委員（浜松まちなかにぎわい協議会事務局長）

2 検討内容

(1) 施設整備の目標

2 つの基本目標に加え、浜松市の魅力向上を積極的に仕掛ける戦略目標を設定した。

【基本目標 1】

「徳川家ゆかりの地」としての都市ブランドを確立し、国内外に発信する

【基本目標 2】

日本近世史を代表する徳川記念財団及び徳川宗家コレクションを保存・継承、活用する

【戦略目標】

260 年におよんだ江戸時代の泰平の世

その原点の地としての“浜松”の価値を顕在化する

(2) 施設整備コンセプト

家康公が天下人の基礎を築いた浜松の地で、徳川將軍家の至宝に触れ、徳川家ゆかりの地へいざなう

(3) 施設計画の考え方

①既存建築物の活用について

- ・仮設建築物から常設建築物への変更は、現行法規への適合が必要
- ・高気密型の温湿度環境とするため、壁や天井の内外仕上げを撤去し、新たに壁や天井を設ける必要があるため、既存建築物の再利用は柱、梁等の構造フレームのみ
- ・既存建築物は平面・天井高さに制約あり

②収蔵資料について

- ・徳川記念財団及び徳川宗家が所蔵する全ての資料約 20,000 点の展示収蔵を想定

③諸室機能と必要面積について

【展示室】展示室の面積には明確な基準はなく、類似施設では800～1,000 m²程度の施設が多い
巡回展に対応するための一般的な面積は、800 m²以上必要

【収蔵庫】徳川記念財団及び徳川宗家所蔵資料の収蔵には、600 m²必要

財団所蔵資料に加え、市所蔵資料や将来的な増加に対応するためには、800 m²必要

④その他

- ・浜松城公園長期整備構想における「景観の考え方」に配慮
- ・本敷地の建築可能範囲及び掘削深さは、埋蔵文化財の保護を前提

3 各案の比較

いずれの方法においても、「収蔵庫や展示室として確保できる面積が不足すること」や「天守閣の景観を阻害すること」から、大河ドラマ館等の既存建築物及び本敷地を活用した施設整備は難しいことが明らかとなった。

	A. 全て 活用案		B. ドラマ館 活用案		C. ショップ棟 活用案		D. 全て 解体案		E. (参考) 望ましい 施設規模案	
ドラマ館	○	改修	○	改修	×	2階建て新設	×	2階建て新設		
ショップ棟	○	改修	×	3階建て新設	○	改修	×	3階建て新設		
景観	○		△	敷地北⇔天守閣	×	広場⇔天守閣	×	広場⇔天守閣 敷地北⇔天守閣		
延べ面積	-	1,540 m ²	-	3,100 m ²	-	2,840 m ²	-	4,400 m ²	-	4,950 m ²
資料展示室	×	300 m ²	×	180 m ²	△	600 m ²	△	600 m ²	○	800 m ²
体験展示室	×	-	○	340 m ²	×	-	△	100 m ²	○	350 m ²
収蔵庫	×	300 m ²	△	600 m ²	△	600 m ²	△	600 m ²	○	800 m ²
資料展示室 高さ	×	2.1～2.6m	○	新設	○	新設	○	新設	○	新設
研究スペース	○	50 m ²	○	80 m ²	○	50 m ²	○	80 m ²	○	80 m ²
機械室等	-	230 m ²	-	410 m ²	-	410 m ²	-	580 m ²	-	660 m ²
事務室等	-	110 m ²	-	110 m ²	-	110 m ²	-	240 m ²	-	190 m ²
概算費用		23.6 億円		42.7 億円		39.9 億円		59.0 億円		65.2 億円

4 今後の進め方（令和6年度）

徳川記念財団が令和6年夏頃までの予定で進めている所蔵品の全数調査の結果を踏まえた上で、検討委員会における有識者からの意見聴取や議会との協議などにより、施設のあり方や整備案などについて検討する。

A:〈全て活用案〉

〈概要〉

ドラマ館	ドラマ館とオフィス棟は接続（部分的に増築）して 1 つの建築物とし、文化庁指針に則った収蔵庫及び展示室として利用						
ショップ 棟	研究スペース、事務室等として利用						
展示室	資料展示室は最大 300 m ² 、体験展示室は不可または資料展示室を減らして体験展示室に利用						
収蔵庫	最大 300 m ²						
その他	現状の大河ドラマ館の天井高が 4.6m であり、雨水対策等で地盤面からの嵩上げ、天井ダクトの改修工事により天井の低い(2.6m 以下) 展示室、収蔵庫となる						
延べ面積	1,540 m ²	資料展示室	300 m ²	体験展示室	資料展示室内	収蔵庫	300 m ²
		研究スペース	50 m ²	機械室等	230 m ²	事務室等	90 m ²
概算費用	23.6 億円（近隣の博物館の m ² 単価を参考に、物価上昇 1.23 倍・ZEB 化を見込む）						

ダクト 1m

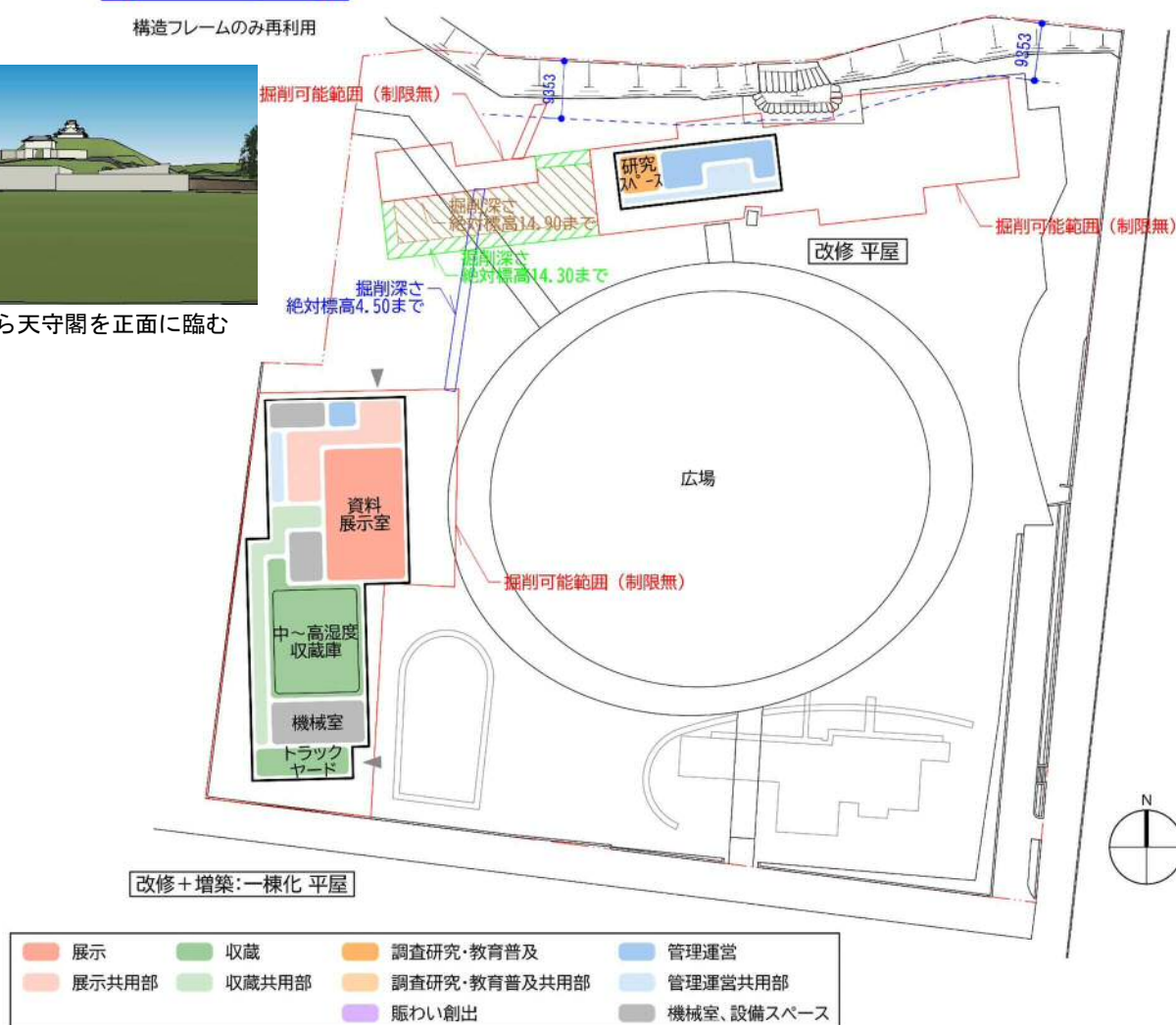
天井高2.1m~2.6m

嵩上げ 1m

構造フレームのみ再利用



広場から天守閣を正面に臨む

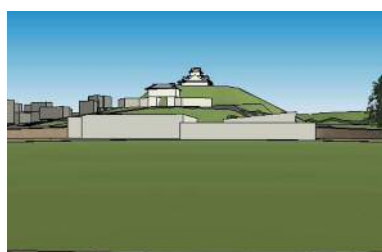


B：〈ドラマ館活用案〉

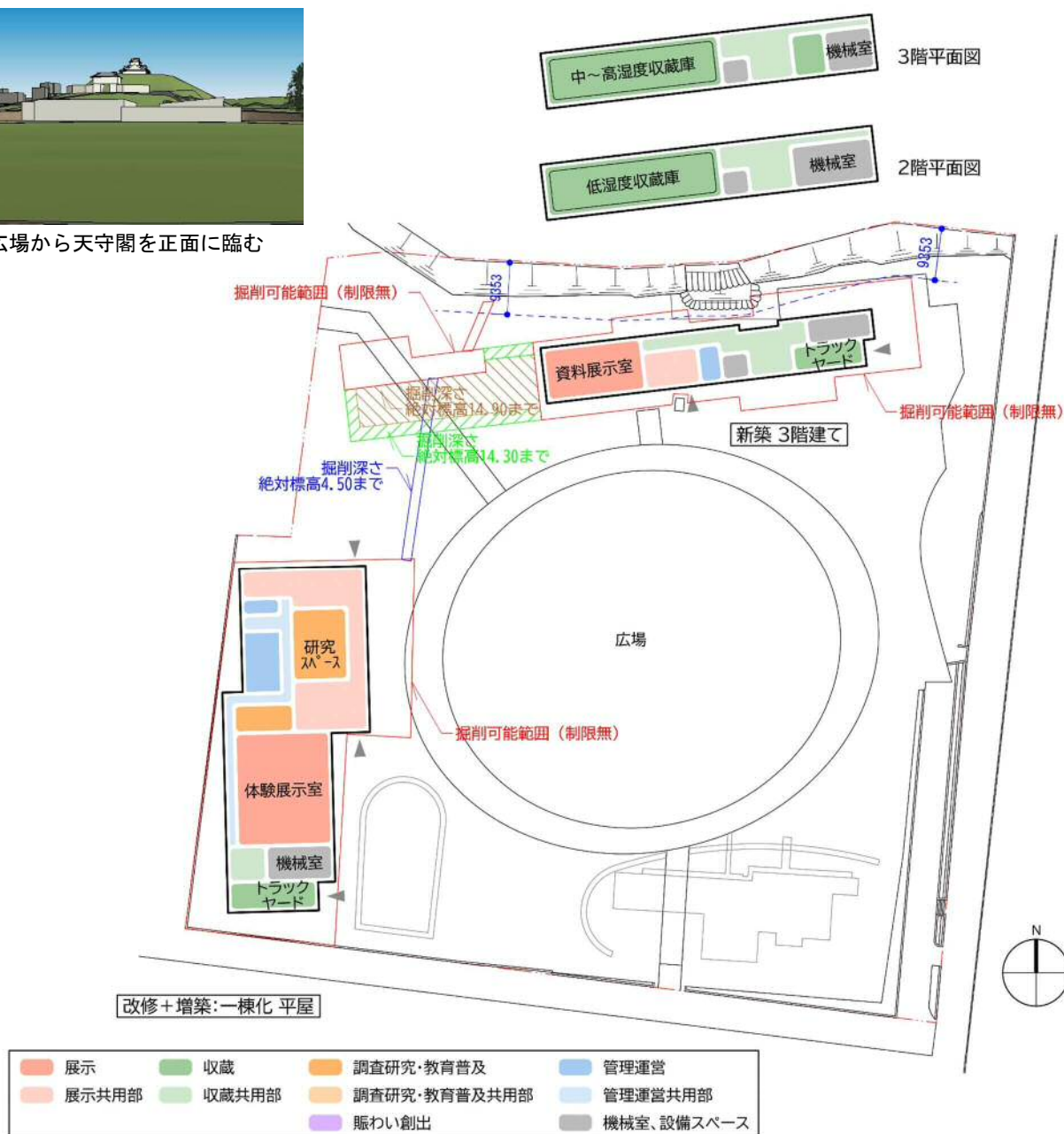
ドラマ館利活用	必要面積	文化庁指針
△	△	○

〈概要〉

ドラマ館	ドラマ館とオフィス棟は接続（部分的に増築）して1つの建築物とし、体験展示室や研究スペース、事務室等として利用						
ショップ棟	解体し、3階建て1,800㎡程度を新築、文化庁指針に則った収蔵庫及び展示室として利用						
展示室	資料展示室のみで180㎡ （資料展示室と収蔵庫は同じ建築物にする必要があるため、新築棟に限定）						
収蔵庫	最大600㎡						
その他	体験展示室は430㎡で収蔵庫と動線が分かれるため資料展示室は不可						
延べ面積	3,100㎡	資料展示室	180㎡	体験展示室	340㎡	収蔵庫	600㎡
		研究スペース	80㎡	機械室等	410㎡	事務室等	90㎡
概算費用	42.7億円（近隣の博物館の㎡単価を参考に、物価上昇1.23倍・ZEB化を見込む）						



広場から天守閣を正面に臨む

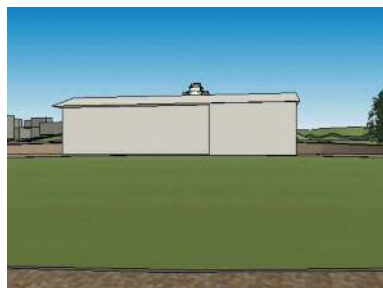


C：〈ショップ棟活用案〉

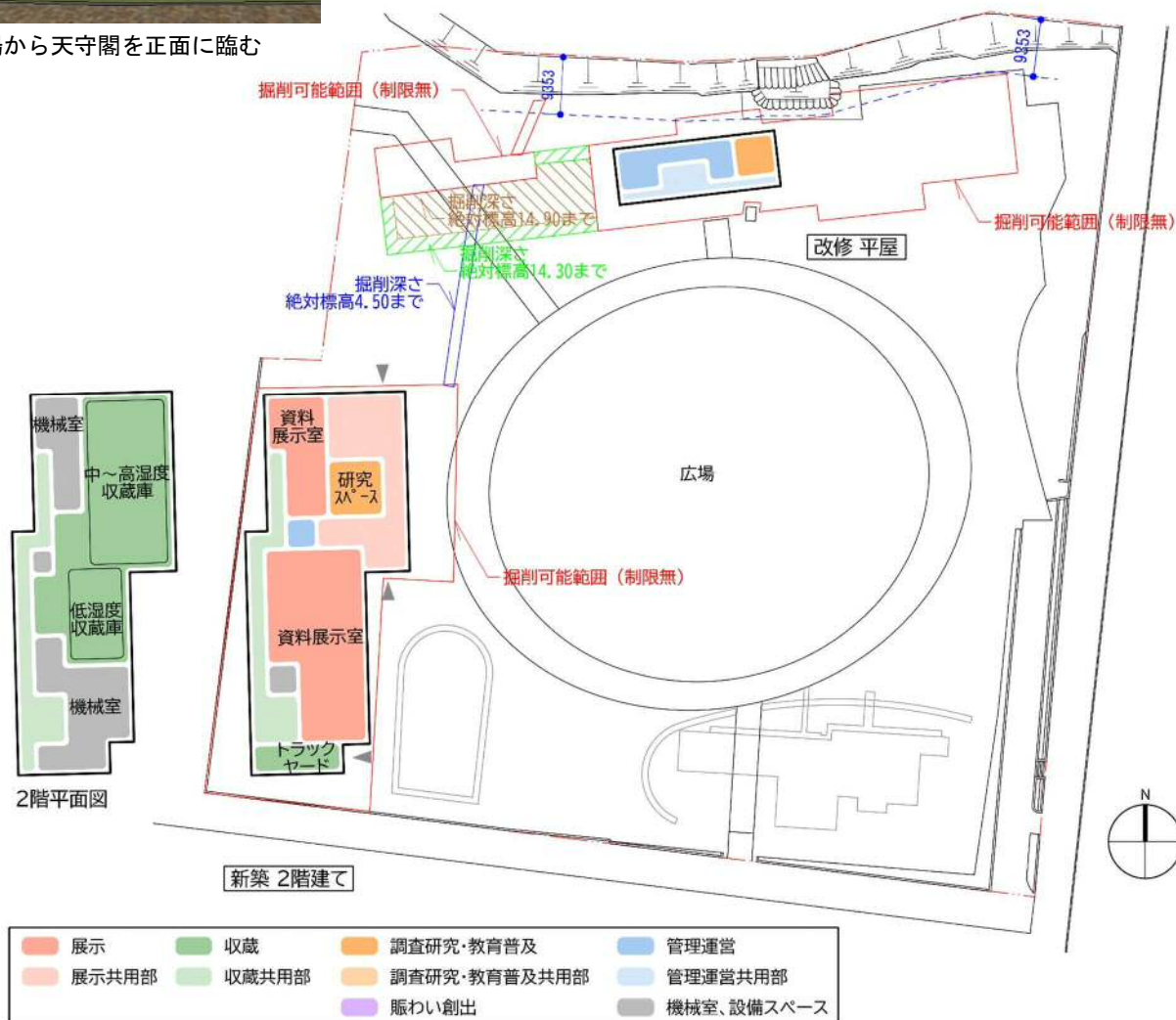
ドラマ館利活用	必要面積	文化庁指針
△	△	○

〈概要〉

ドラマ館	ドラマ館とオフィス棟は解体。2 階建て 2,600 ㎡程度を新築し、文化庁指針に則った収蔵庫及び展示室として利用						
ショップ棟	ショップ棟は、研究スペース、事務室等として利用						
展示室	資料展示室 440 ㎡、体験展示室も資料展示室に利用した場合は最大 600 ㎡						
収蔵庫	最大 600 ㎡						
その他	広場から浜松城天守曲輪と天守門が見えなくなる						
延べ面積	2,840 ㎡	資料展示室	600 ㎡	体験展示室	資料展示室内	収蔵庫	600 ㎡
		研究スペース	50 ㎡	機械室等	410 ㎡	事務室等	90 ㎡
概算費用	39.9 億円（近隣の博物館の㎡単価を参考に、物価上昇 1.23 倍・ZEB 化を見込む）						



広場から天守閣を正面に臨む

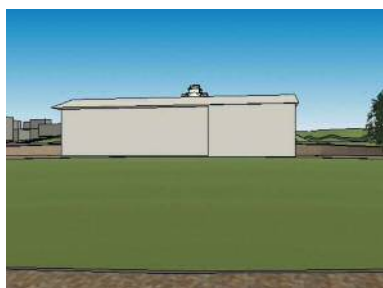


D：〈全て解体案〉」

ドラマ館利活用	必要面積	文化庁指針
×	△	○

〈概要〉

ドラマ館	ドラマ館とオフィス棟は解体。2 階建て 2, 600 m ² 程度を新築し、文化庁指針に則った収蔵庫及び展示室として利用						
ショップ 棟	解体し、3 階建て 1, 800 m ² 程度を新築、体験展示室や研究スペース等として利用						
展示室	資料展示室 600 m ²						
収蔵庫	最大 600 m ²						
その他	広場から浜松城天守曲輪と天守門が見えなくなる						
延べ面積	4, 400 m ²	資料展示室	600 m ²	体験展示室	100 m ²	収蔵庫	600 m ²
		研究スペース	80 m ²	機械室等	580 m ²	事務室等	200 m ²
概算費用	59.0 億円（近隣の博物館の m ² 単価を参考に、物価上昇 1.23 倍・ZEB 化を見込む）						



広場から天守閣を正面に臨む

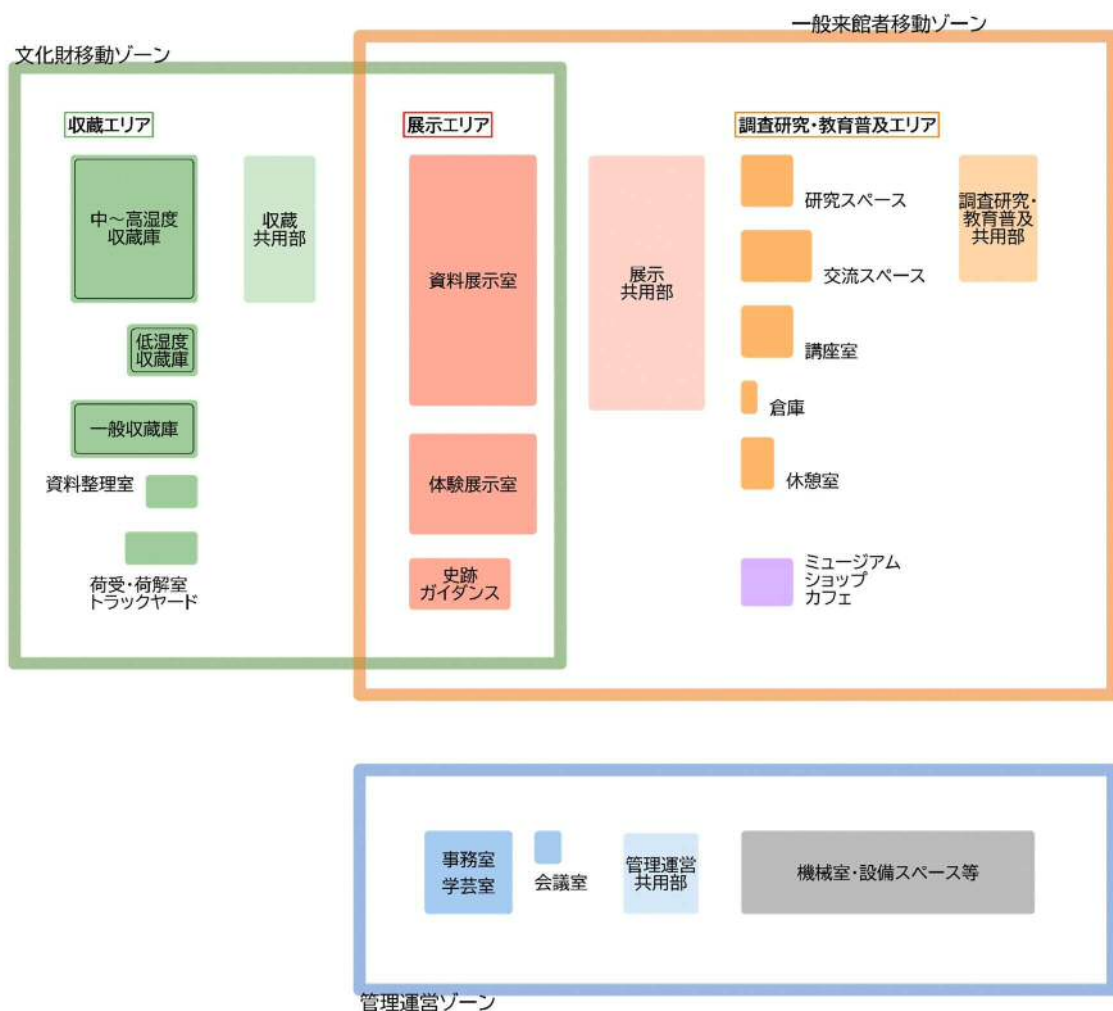


E：〈(参考) 望ましい施設規模案〉

ドラマ館利活用	必要面積	文化庁指針
×	○	○

〈概要〉

ドラマ館	資料展示室 800 m ² 、体験展示室最大 350 m ²						
収蔵庫	最大 800 m ²						
その他	敷地選定が必要						
延べ面積	4,950 m ²	資料展示室	800 m ²	体験展示室	350 m ²	収蔵庫	800 m ²
		研究スペース	80 m ²	機械室等	660 m ²	事務室等	150 m ²
概算費用	65.2 億円（近隣の博物館の㎡単価を参考に、物価上昇 1.23 倍・ZEB 化を見込む）						



展示	収蔵	調査研究・教育普及	管理運営
展示共用部	収蔵共用部	調査研究・教育普及共用部	管理運営共用部
		賑わい創出	機械室・設備スペース